

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	東九州支部	(2) 記載者氏名:	飯田 勝之	会員番号:	10912	事務局整理記入欄	東九州 - 21
分水嶺区分	堂尾台～立石池湖畔(K071とK072の間)	(3) 山行日:	2005年	2月	20日	(4) 天候:	曇り時々小雪

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

飯田勝之	10912						
中野 稔	13997						
計				2名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	昨年の支部の月例山行で実施した分水嶺踏査の、未実施部分の補足踏査で、野稲岳南東の稜線鞍部から蛇越岳山頂までの区間。 アプローチ: 蛇越岳山麓の、立石池湖畔に車を置いて、林道 線を野稲岳東南麓まで歩いて、昨年踏査終了地点から踏査を開始。蛇越岳山頂で終了とし、立石池湖畔へ下山。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	立石池湖畔	湯平	131	17	5.1	33	12	27.8	873		9:40	砂利道	
	稜線とにつき	湯平	131	17	34.9	33	13	13.7	929	10:20		B-1	
分水嶺到達点	堂尾台934m	湯平	131	17	40.9	33	13	10.5	942	10:28		B-1	
	鞍部	湯平	131	17	39.6	33	13	1.9	897	10:34		B-1	
	920mピーク	湯平	131	17	30.6	33	12	46.5	917	10:51		B-2	
	蛇越岳	湯平	131	17	21.0	33	12	33.2	1,035	11:13		B-2	
分水嶺離別点	立石池湖畔	湯平											
歩行終了点	立石池湖畔	湯平	131	17	5.1	33	12	27.8	873	11:53			
総歩行時間(休憩時間を除く):											2時間00分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
					高堂台、蛇越岳ともに標高点で、四等三角点もなし

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

高堂台南部の鞍部近くに無線アンテナとキュービクルの設置あり。	蛇越岳北側斜面は、鞍部から中腹まで、山林境界の古い土塁が数百mにわたり残っている。

(9) 水および植生に関連した特記事項

高堂台から蛇越岳鞍部までの間はすべてヒノキの造林地。	蛇越岳北斜面は落葉樹を中心とした二次林であるが、相当程度天然林として復元している。

(10) その他の特記事項

2.5万分1地形図にある、堂尾台から蛇越岳北斜面にかけての破線の道は現状確認はできない。	

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	

